

業務メール 自動振り分けシステム

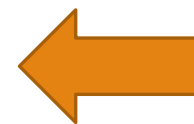
PowerAutomateによる
Outlook×Teams×OneDrive

トリガー

新しいメールが届いたとき (V3)

フォルダー	Inbox
宛先	セミコロンで区切られた、受信者のメールアドレス (一致がある場合)
CC	セミコロンで区切られた、CC 受信者のメールアドレス (一致がある)
To または CC	セミコロンで区切られた、To または CC 受信者のメールアドレス (一
差出人	[Redacted]
添付ファイルを含める	はい
件名フィルター	件名内で検索する文字列です。
重要度	任意
添付ファイル付きのみ	いいえ

[詳細オプションを表示しない](#) ^



差出人を絞ることで
迷惑メールを排除

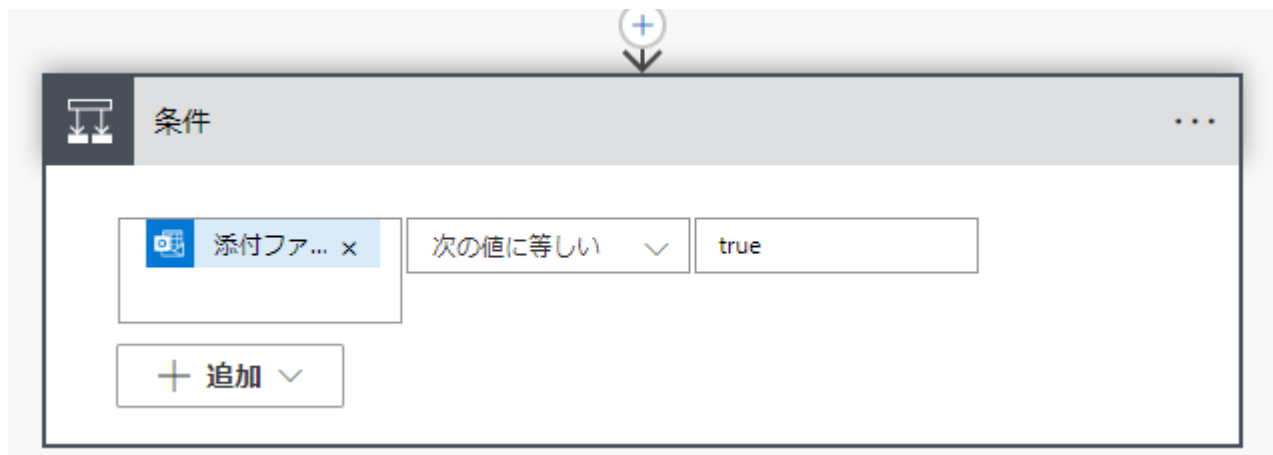
時刻とタイムゾーン

The screenshot shows a software interface with two panels. The top panel, titled '現在の時刻' (Current Time), contains the text: 'この手順では、追加情報が必要ありません。後続の手順で出力を使用できるようになります。' (In this step, no additional information is required. You will be able to use the output in subsequent steps.) The bottom panel, titled 'タイムゾーンの変換' (Time Zone Conversion), contains the following settings:

* 基準時間	現在の時刻 ×
書式設定文字列	yyyyMMdd ×
* 変換元のタイムゾーン	(UTC) 協定世界時 ↓
* 変換先のタイムゾーン	(UTC+09:00) 大阪、札幌、東京 ↓

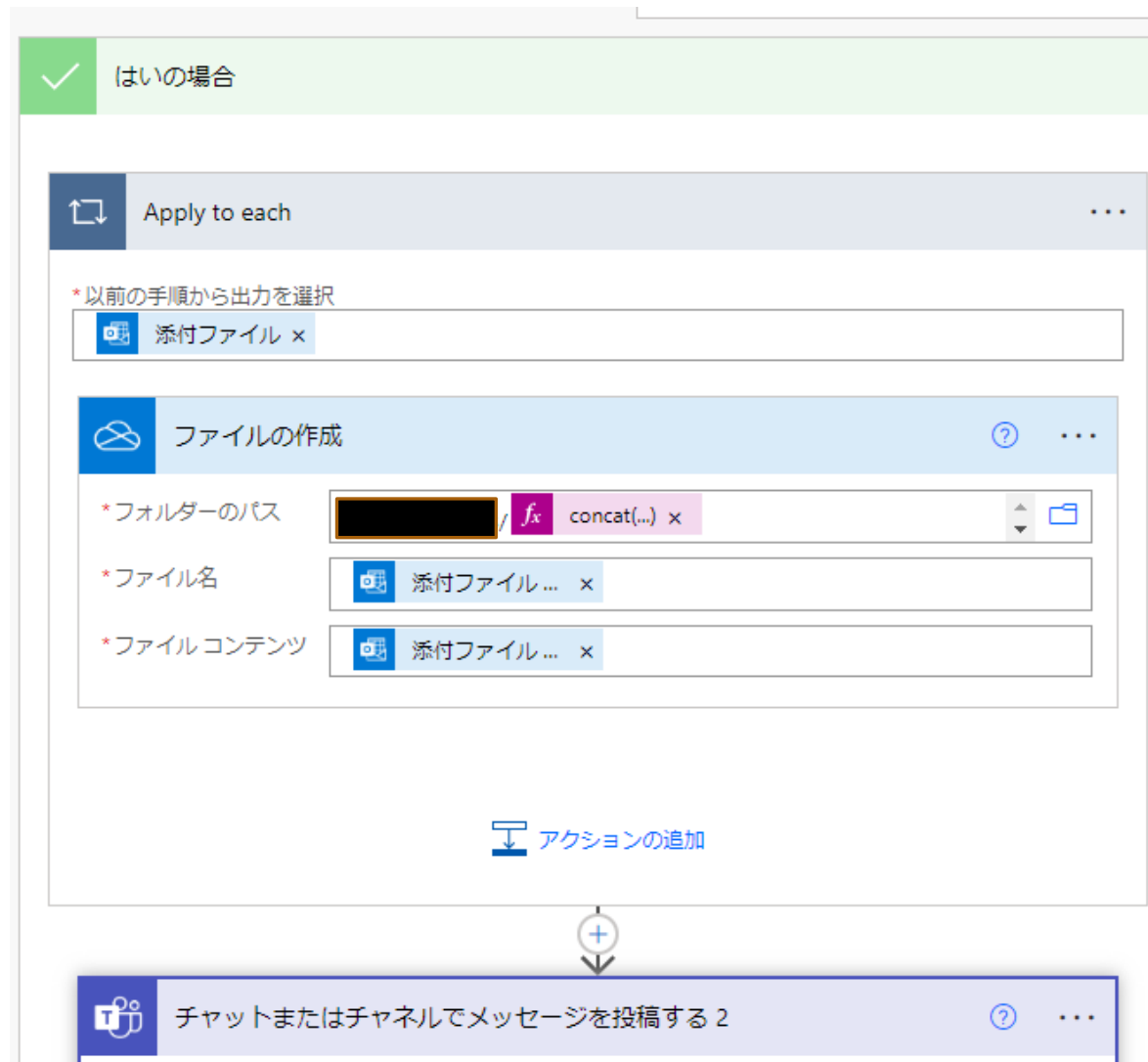
添付ファイルの
フォルダ分けに使用

条件



添付ファイルの有無
による送信内容変更
を行うため

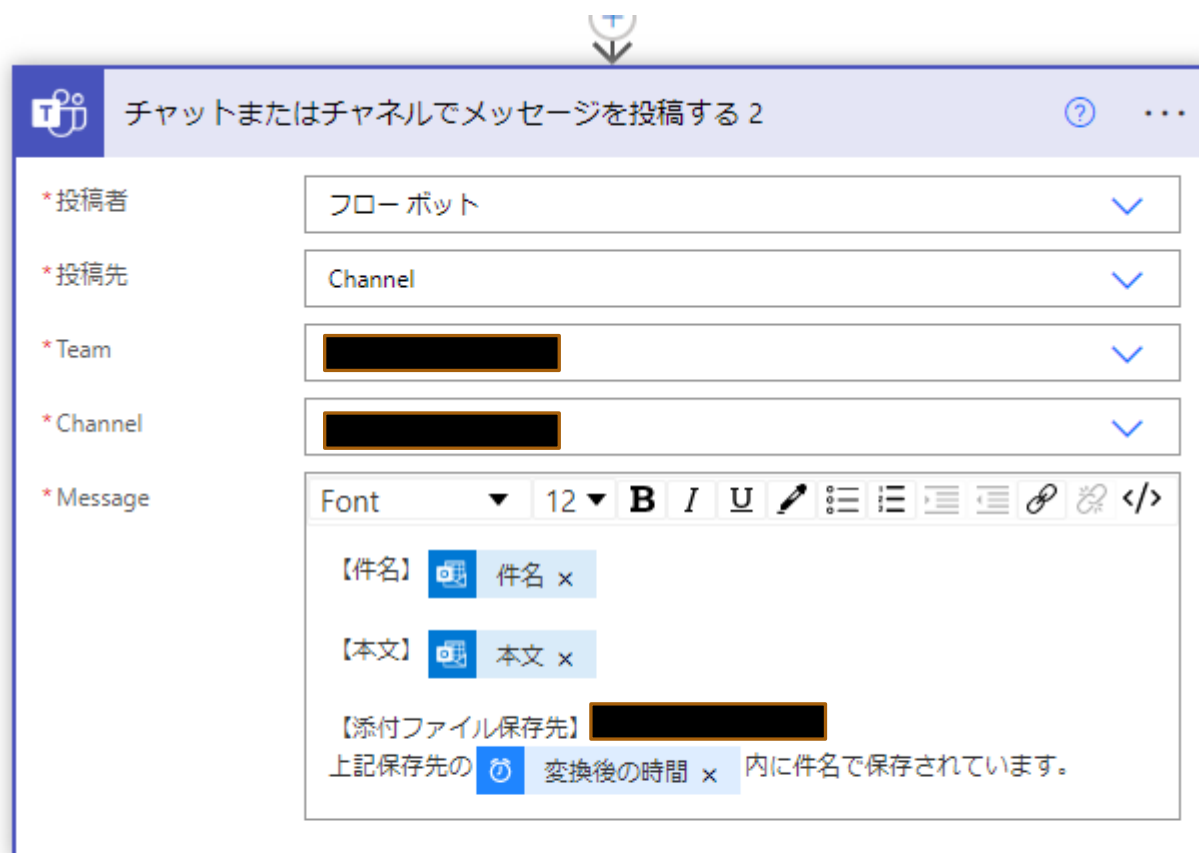
条件：添付ファイルありの場合①



添付ファイルを
OneDriveへ自動保存

フォルダのパス
OneDrive内に
「日付」によるフォルダを
作成する関数を挿入

条件：添付ファイルありの場合②



チャットまたはチャンネルでメッセージを投稿する 2

*投稿者 フロー ボット

*投稿先 Channel

*Team [Redacted]

*Channel [Redacted]

*Message

Font 12 **B** *I* U [Rich Text Icons]

【件名】 [Icon] 件名 x

【本文】 [Icon] 本文 x

【添付ファイル保存先】 [Redacted]

上記保存先の [Icon] 変換後の時間 x 内に件名で保存されています。

Teamsへ自動投稿

件名や本文だけでなく
添付ファイルの保存先の
URLを入れることで
添付ファイルも同時共有

 アクションの追加

条件：添付ファイルなしの場合

いいえの場合

チャットまたはチャネルでメッセージを投稿する

*投稿者 フローボット

*投稿先 Channel

*Team [Redacted]

*Channel [Redacted]

*Message

Font 12 **B** *I* U [Icons]

【件名】 [Icon] 件名 ×

【本文】 [Icon] 本文 ×

【添付ファイル】 なし

アクションの追加

Teamsへ自動投稿

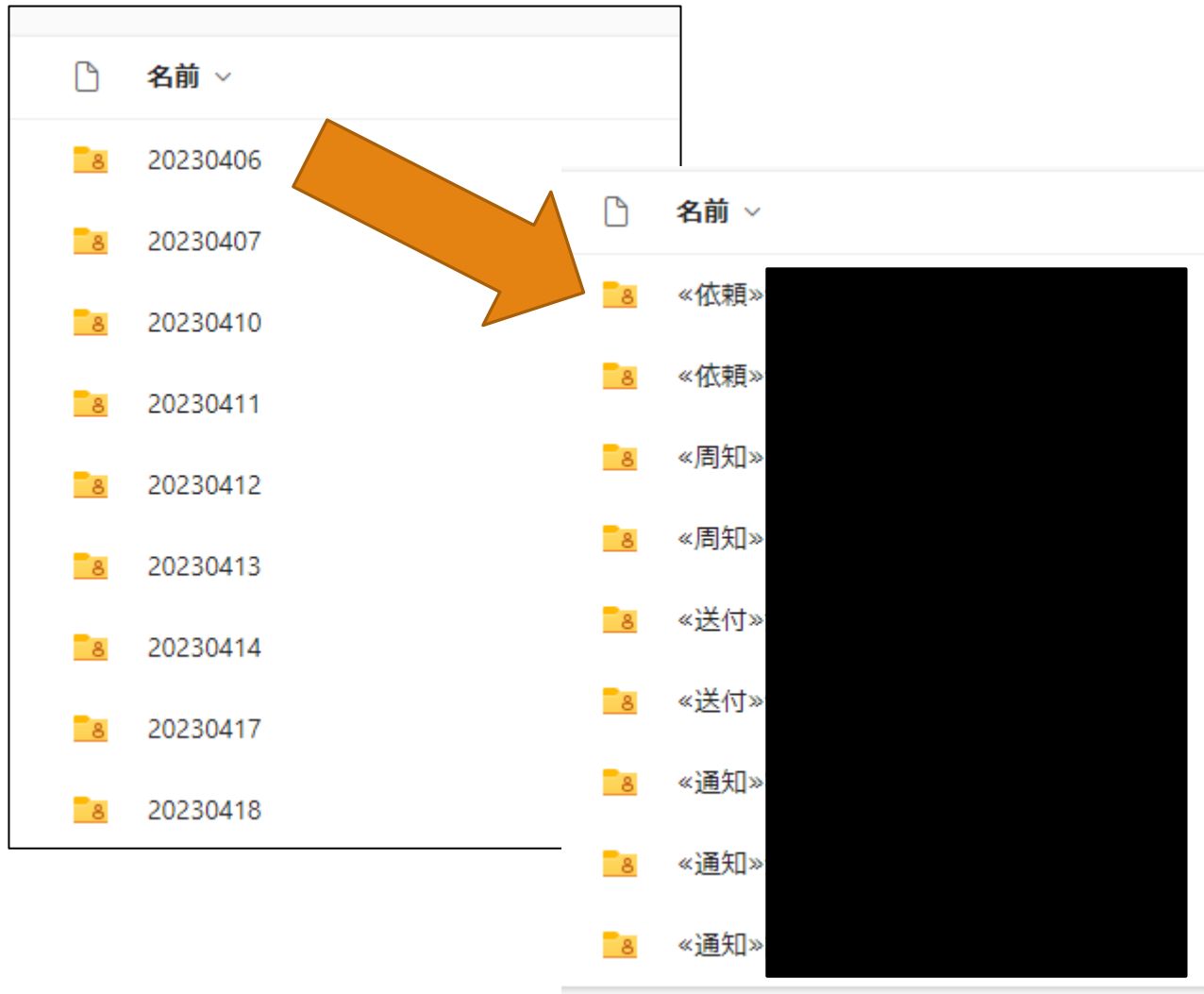
添付ファイルがないことも
記載しておく

Teamsへの転送イメージ



メール確認業務担当が複数の場合
返信にて対応内容を記載すると
重複することを回避できる

OneDriveへの添付資料自動保存イメージ



日付によって整理

同日の複数メールは
フォルダ内に件名で
自動仕分け

まとめ

学校には国や県、教育委員会などから様々なメールが毎日届く。この処理による多忙化は結果として学校全体の多忙化につながる。

Microsoft製品の連動による業務効率化の一例として多様な場面での活用をしていただきたい。